

アンケート調査結果（転出者）

I アンケート調査実施概要

■ 調査目的

本町からの転出者に対し転出の理由等を調査し、総合戦略策定に活用するもの。

■ 調査概要

調査対象	過去3年以内に転出した町民。
抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
標本数	431
回収数	77
調査方法	郵送による調査票の発送・回収
調査期間	2019年11月26日（火）～2019年12月9日（月）

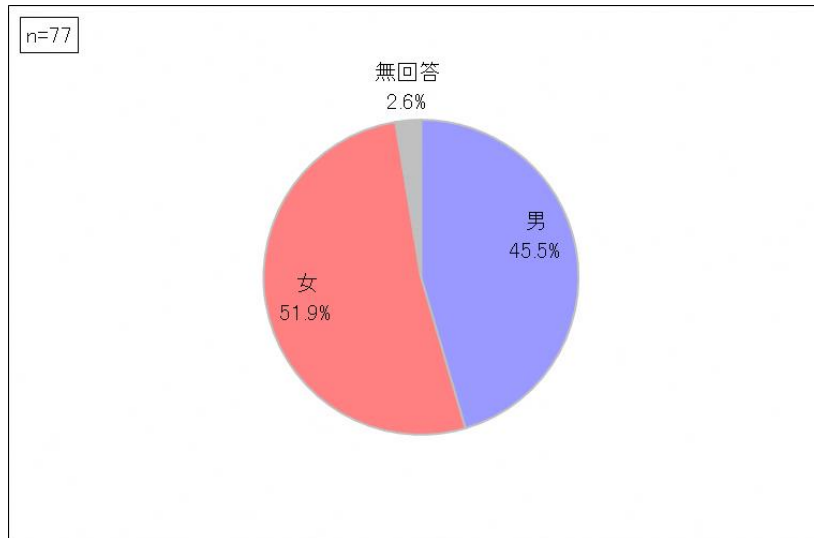
■ 本報告書中の表記について

（SA）：単純回答、（MA）：複数回答、（n）：回答数

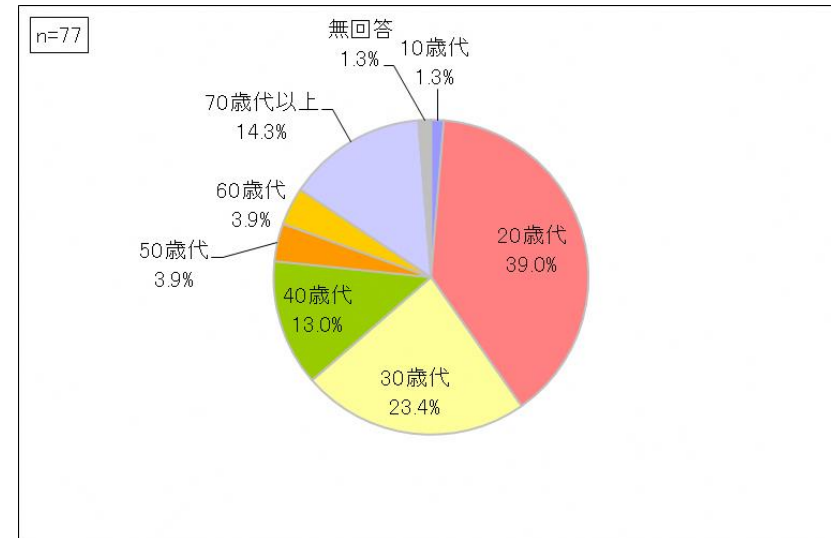
I アンケート調査実施概要

■ 回答者概要

問1-1：あなたの性別はどちらですか。
(SA)



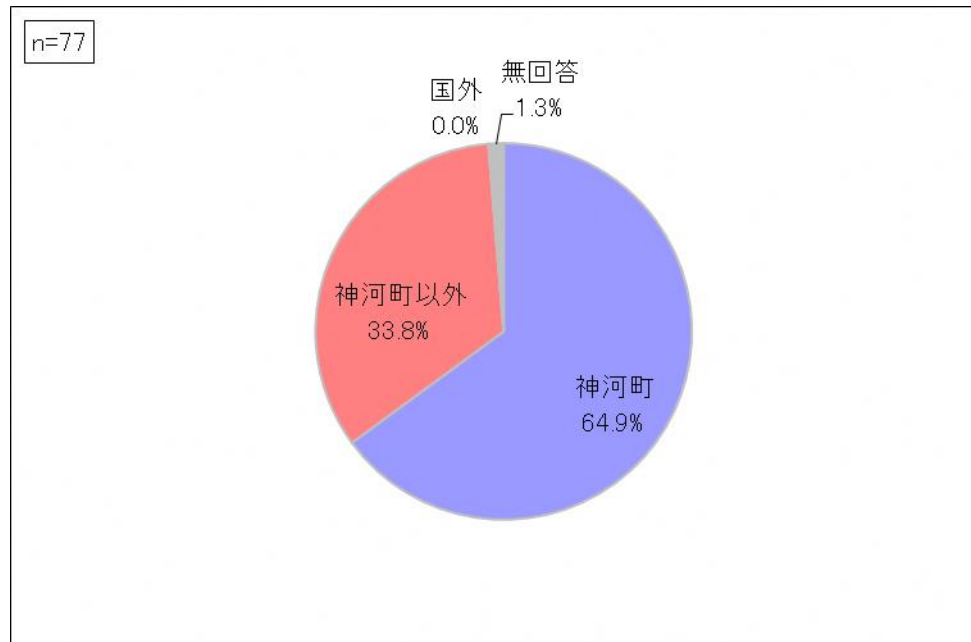
問1-2：あなたの年齢をお答えください。
(SA)



I アンケート調査実施概要

■ 回答者概要

問1-3：あなたの出身地をお答えください。※本調査では15歳までの期間で、最も長く住んでいた場所を出身地とします。（SA）



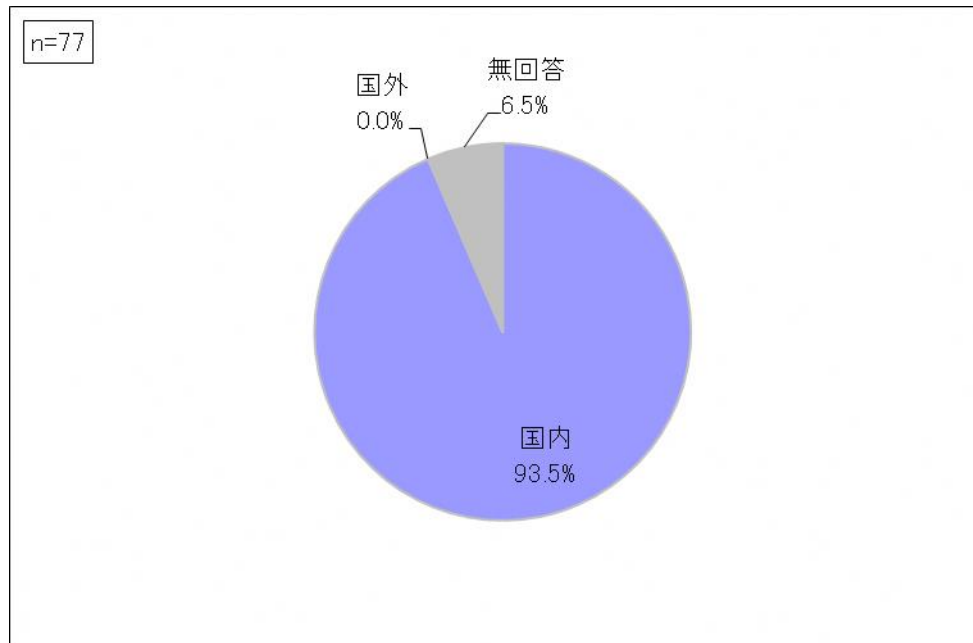
【神河町以外の出身地】

- 岡山県
- 京都府
- 山口県
- 大阪府
- 長野県
- 島根県
- 東京都
- 徳島県
- 福岡県
- 兵庫県

I アンケート調査実施概要

■ 回答者概要

問1-4：神河町から転出した直後に住んでいた都道府県や市区町村について、具体的にご記入ください。（SA）



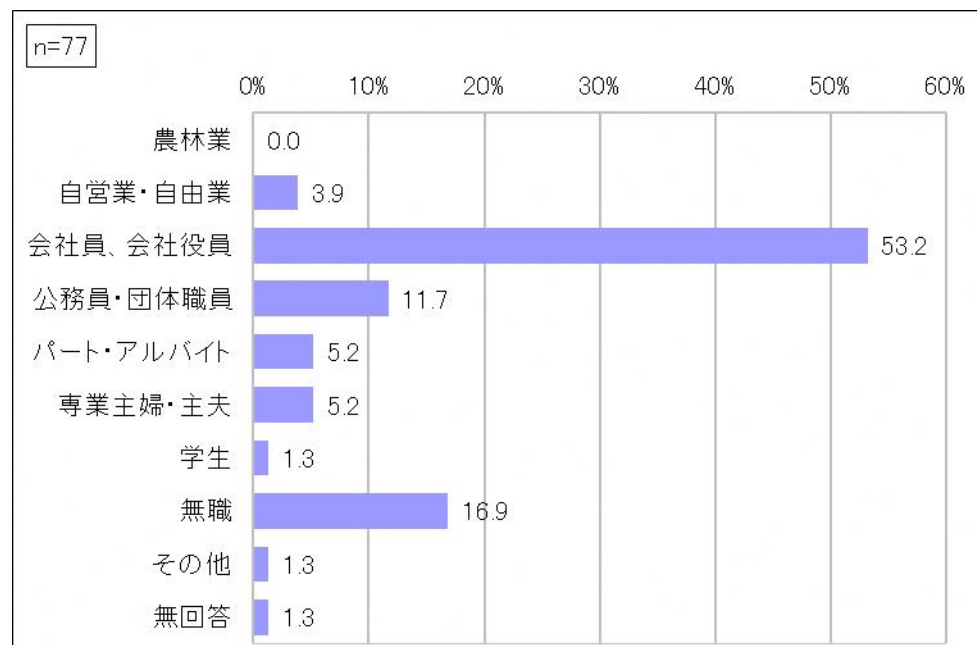
【転出直後に住んでいた都道府県】

都道府県名	回答数
岡山県	1
京都府	2
広島県	1
埼玉県	1
山口県	1
大阪府	8
東京都	5
栃木県	1
兵庫県	50

I アンケート調査実施概要

■ 回答者概要

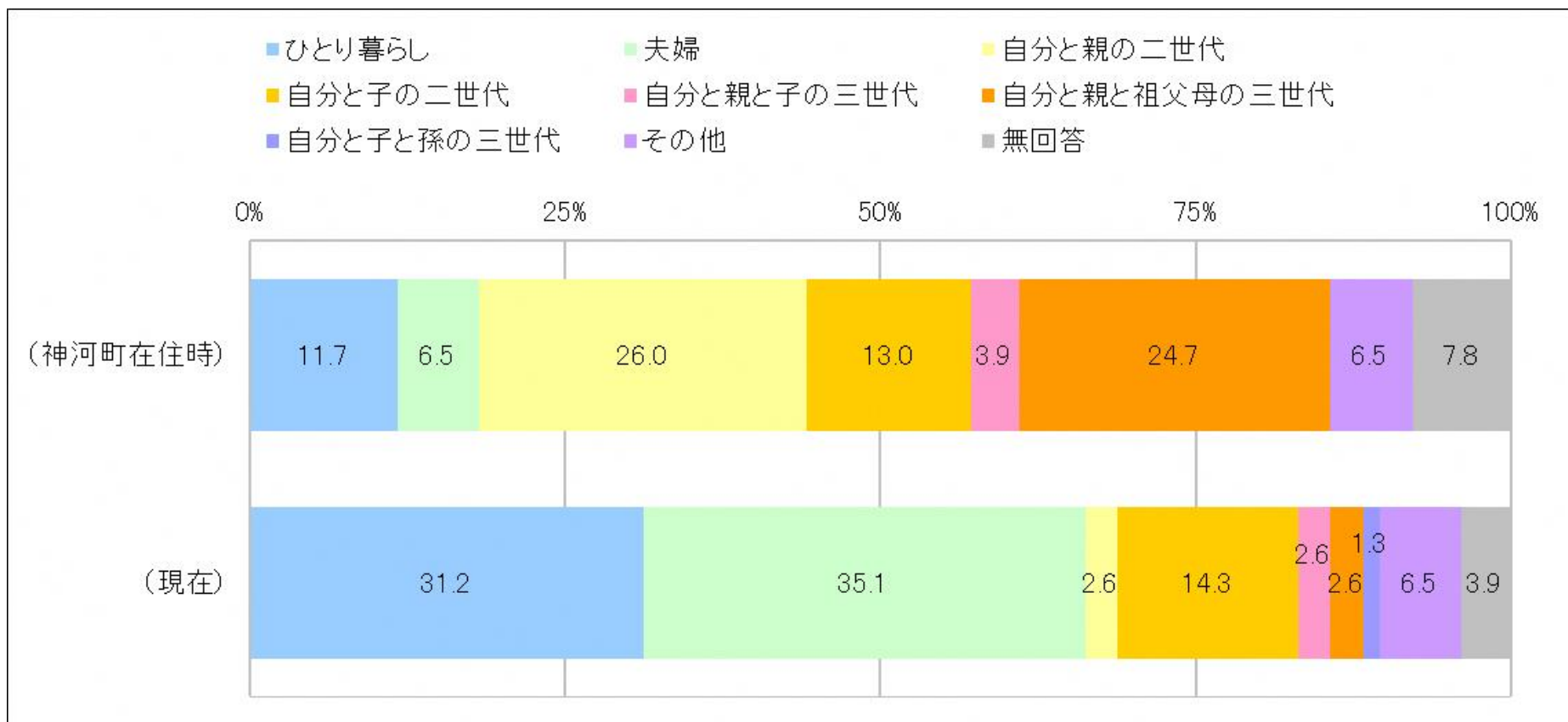
問1-5：あなたの現在の職業をお答えください。（SA）



I アンケート調査実施概要

- 神河町在住時に二世代・三世代同居をしていた方が、転出後の現在は一人暮らしか夫婦世帯へと、転出前後で世帯構成が変化している様子が見受けられました。

問1-6：神河町在住時及び現在の世帯構成について、お答えください。（SA）

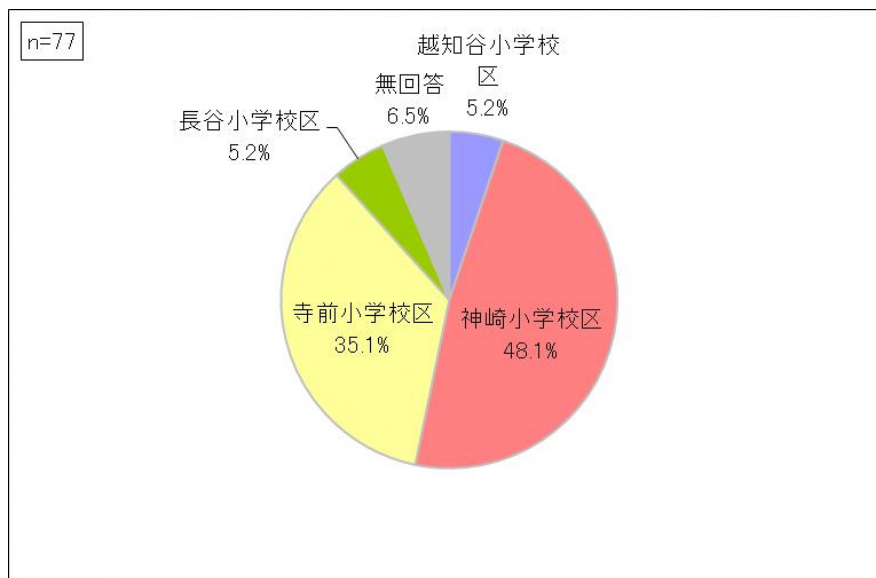


Ⅱ 調査結果

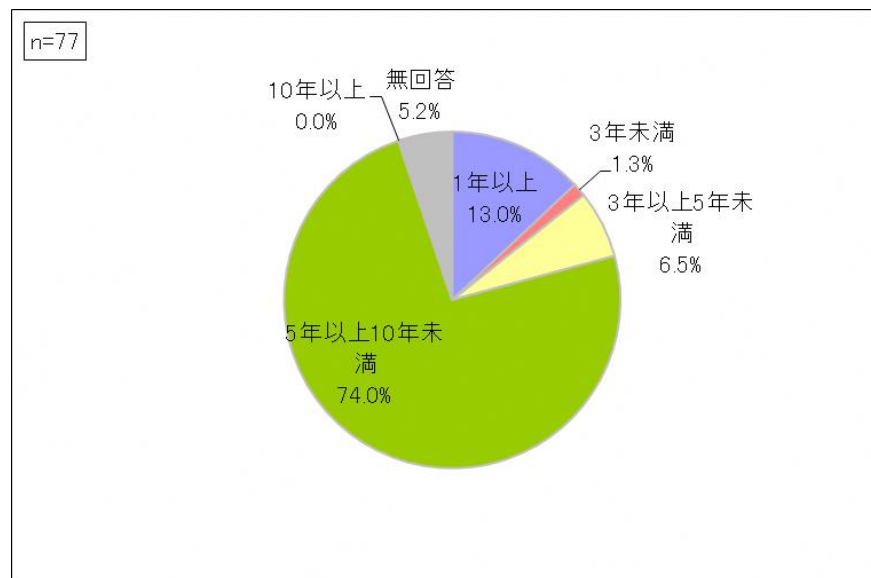
転出前後の状況 について

- 転出前の居住地区としては、神崎小学校区、寺前小学校区が全体の8割以上を占めています。
- 神河町における居住年数は、5年以上10年未満が最も多く、全体の7割以上を占めています。

問2-1：転出前の神河町での居住地区について、お答えください。（SA）



問2-2：神河町で暮らした年数についてお答えください。（SA）

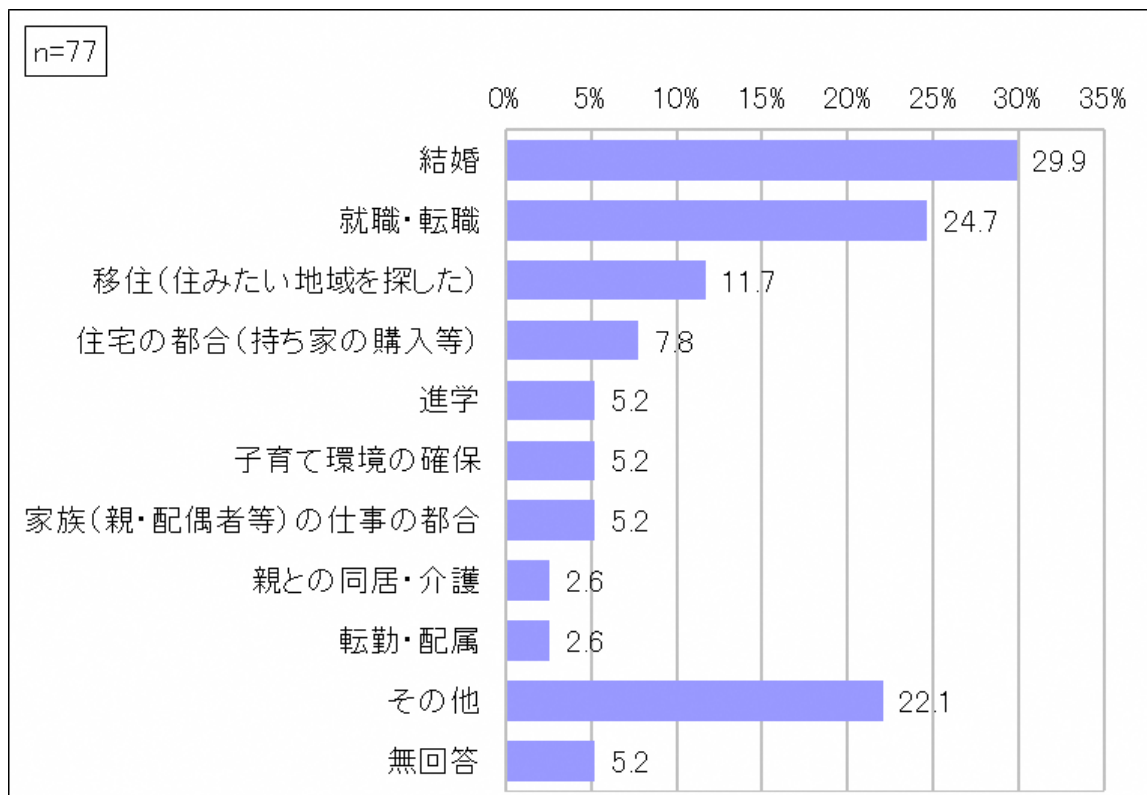


Ⅱ 調査結果

転出前後の状況 について

- 神河町から転出した主な理由は、就職・転職が最も多く、次いで結婚の順となっています。

問2-3：神河町から転出した主な理由についてお答えください。（MA）



Ⅱ 調査結果

転出前後の状況 について

- 20歳代で転出した層は就職・転職がきっかけとなっていますが、30歳代以上で転出した層はより住みやすい地域や子育て環境を求めて転出しています。

問2-3：神河町から転出した主な理由についてお答えください。（MA）

年齢別集計結果（％）

	回答数	進学	就職・転職	住宅の都合（持ち家の購入等）	移住（住みたい地域を探した）	子育て環境の確保	結婚	親との同居・介護	転勤・配属	家族（親・配偶者等）の仕事の都合	その他	無回答
全体	77	5.2	24.7	7.8	11.7	5.2	29.9	2.6	2.6	5.2	22.1	5.2
10歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
20歳代	30	6.7	53.3	3.3	6.7	3.3	40.0	0.0	0.0	3.3	3.3	0.0
30歳代	18	5.6	0.0	11.1	11.1	0.0	50.0	5.6	5.6	0.0	16.7	5.6
40歳代	10	10.0	20.0	20.0	30.0	30.0	20.0	10.0	0.0	0.0	30.0	0.0
50歳代	3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0
60歳代	3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3
70歳代以上	11	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	72.7	9.1

性別集計結果（％）

	回答数	進学	就職・転職	住宅の都合（持ち家の購入等）	移住（住みたい地域を探した）	子育て環境の確保	結婚	親との同居・介護	転勤・配属	家族（親・配偶者等）の仕事の都合	その他	無回答
全体	77	5.2	24.7	7.8	11.7	5.2	29.9	2.6	2.6	5.2	22.1	5.2
男	35	0.0	25.7	8.6	17.1	2.9	22.9	2.9	5.7	5.7	25.7	2.9
女	40	10.0	25.0	7.5	7.5	7.5	37.5	2.5	0.0	5.0	17.5	5.0

Ⅱ 調査結果

転出前後の状況 について

- ・ 病気をあげる回答や、交通の便をあげる回答などがみられました。

問2-3：神河町から転出した主な理由についてお答えください。（MA）

自由回答

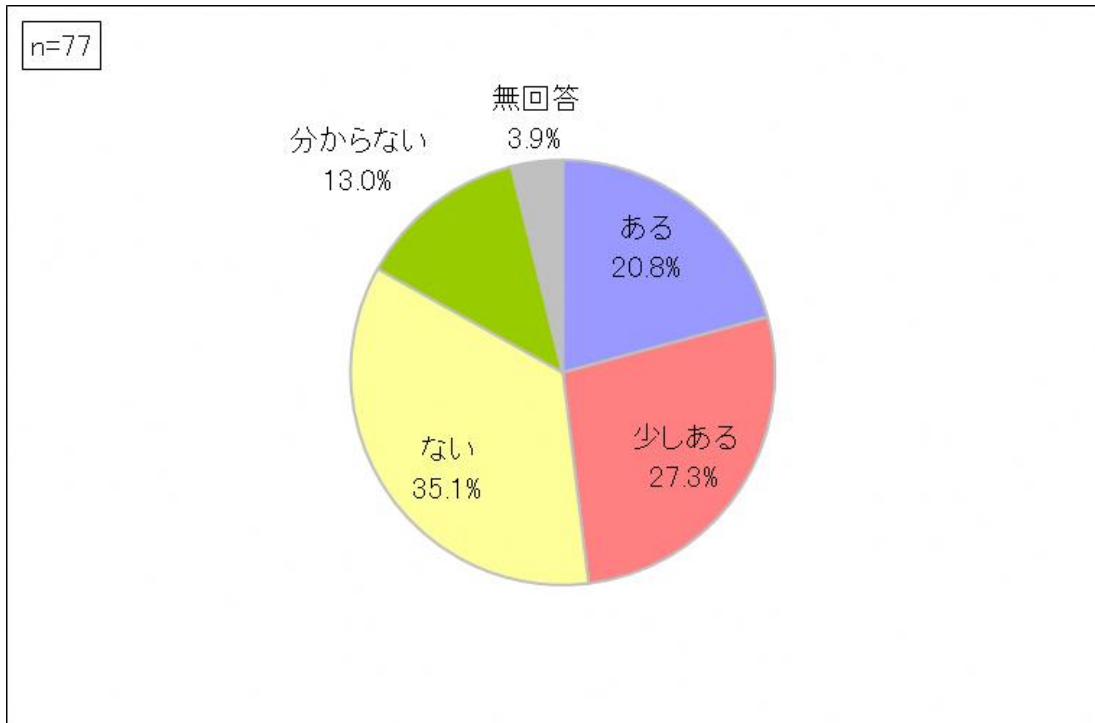
実家に帰った。
病気の為。
離婚
老人ホーム入所
病気のため入院。
ひとり暮らしになって15年経過し、便利なところ へと考えた。
住むところをかえました。
離婚
入院(手術のため)
祖母の世話。
病気
DV
交通の便
交通の便の悪さ

Ⅱ 調査結果

転出前後の状況 について

- 将来神河町に戻ってきたいという気持ちについて、「ある」「少しある」と答えた人の合計は全体のおよそ半数を占めています。
- 一方で、「ない」と答えた人は、全体のおよそ35%となっています。

問2-4：将来的に神河町に戻ってきたいという気持ちはありますか。（SA）



Ⅱ 調査結果

転出前後の状況 について

- 20歳代で転出する層は将来的に神河町に戻る可能性を残していますが、30歳代以降は戻る気持ちがない人が多くなっています。また、性別では男性の方が女性より戻りたいとする回答割合が多くなりました。

問2-4：将来的に神河町に戻ってきたいという気持ちはありますか。（SA）

年齢別集計結果（％）

	回答数	ある	少しある	ない	分からない	無回答
全体	77	20.8	27.3	35.1	13.0	3.9
10歳代	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
20歳代	30	16.7	40.0	30.0	13.3	0.0
30歳代	18	22.2	27.8	27.8	22.2	0.0
40歳代	10	20.0	10.0	60.0	10.0	0.0
50歳代	3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
60歳代	3	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3
70歳代以上	11	36.4	9.1	36.4	9.1	9.1

性別集計結果（％）

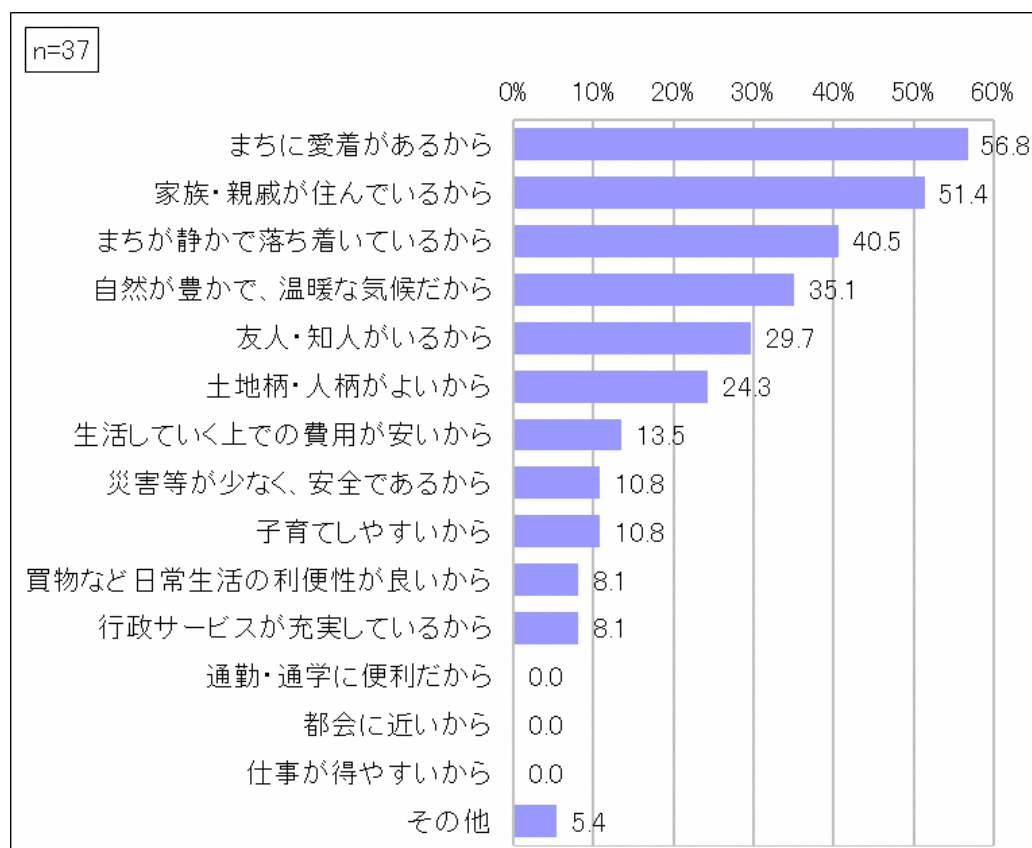
	回答数	ある	少しある	ない	分からない	無回答
全体	77	20.8	27.3	35.1	13.0	3.9
男	35	31.4	22.9	31.4	14.3	0.0
女	40	12.5	32.5	37.5	12.5	5.0

Ⅱ 調査結果

転出前後の状況 について

- 神河町に戻ってきたい理由としては、「まちへの愛着」が多くあげられた他、「家族・親戚の存在」や「まちが静かで落ち着いているから」が多く挙げられています。

問2-5：【問2-4で「1.ある」～「2.少しある」と回答の方】将来的に神河町に戻ってきたい理由は何ですか。（MA）



Ⅱ 調査結果

転出前後の状況 について

- 20歳代では「家族・親戚が住んでいるから」という理由が多いですが、40歳代以降はまちへの愛着や豊かな自然、また土地の人柄などが理由の多くを占めています。

問2-5：【問2-4で「1.ある」～「2.少しある」と回答の方】将来的に神河町に戻ってきたい理由は何ですか。（MA）

年齢別集計結果（％）

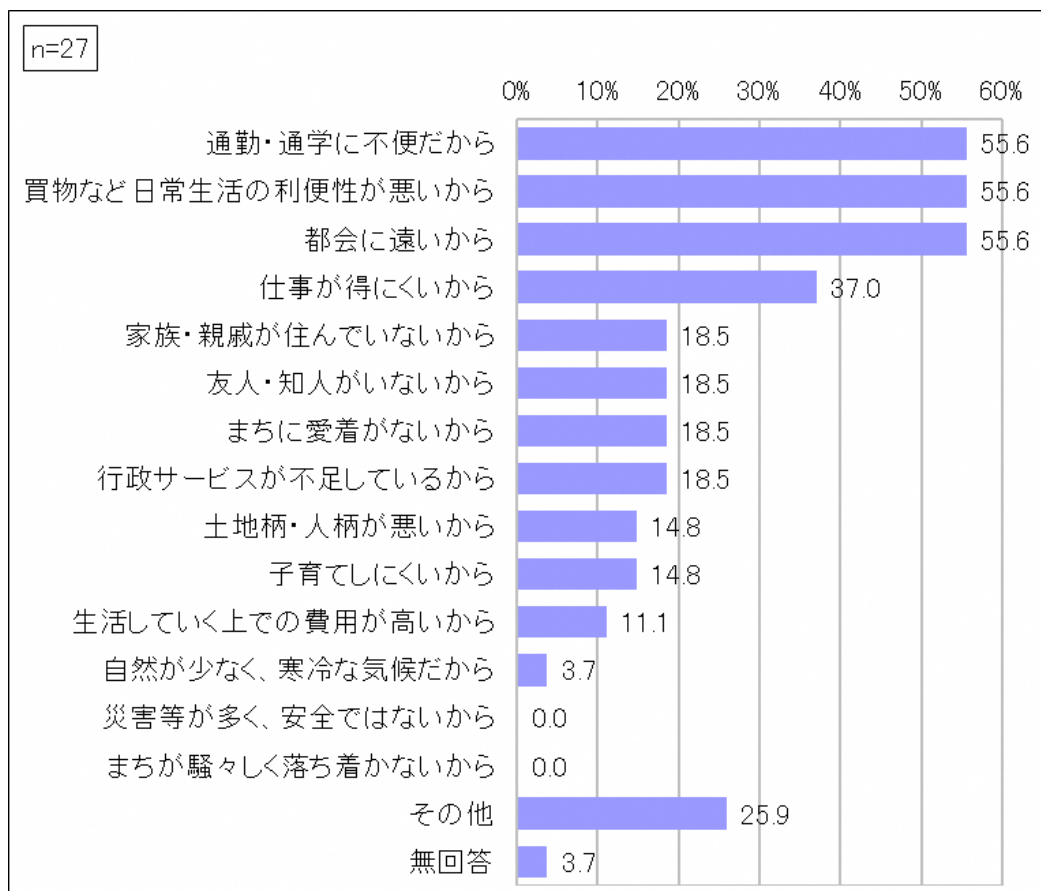
	回答数	家族・親戚が住んでいるから	友人・知人がいるから	通勤・通学に便利だから	買物など日常生活の利便性が良いから	都会に近いから	仕事ができるから	生活していく上で費用が安いから	災害等が少なく、安全であるから	土地柄・人柄が良いから	まちが静かで落ち着いているから	自然が豊かで、温暖な気候だから	まちに愛着があるから	子育てしやすいから	行政サービスが充実しているから	その他
全体	37	51.4	29.7	0.0	8.1	0.0	0.0	13.5	10.8	24.3	40.5	35.1	56.8	10.8	8.1	5.4
10歳代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳代	17	70.6	23.5	0.0	0.0	0.0	0.0	17.6	0.0	17.6	47.1	29.4	64.7	17.6	0.0	0.0
30歳代	9	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	11.1	22.2	33.3	11.1	0.0	11.1
40歳代	3	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0
50歳代	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	100.0	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0
60歳代	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
70歳代以上	5	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0	40.0	60.0	60.0	60.0	0.0	60.0	20.0

Ⅱ 調査結果

転出前後の状況 について

- 一方、神河町に戻ってきたいと思わない理由としては、「通勤・通学・買物に不便」、「買物など日常生活の利便性が悪いから」、「都会に遠い」、等が多く挙げられています。

問2-6：【問2-4で「3.ない」と回答の方】将来的に神河町に戻ってきたいと思わない理由は何ですか。（MA）



Ⅱ 調査結果

転出前後の状況 について

- 利便性に関する不満は世代共通で存在しますが、30歳代以降で行政サービスに対する不満が目立つようになります。

問2-6：【問2-4で「3.ない」と回答の方】将来的に神河町に戻ってきたいと思わない理由は何ですか。（MA）

年齢別集計結果（％）

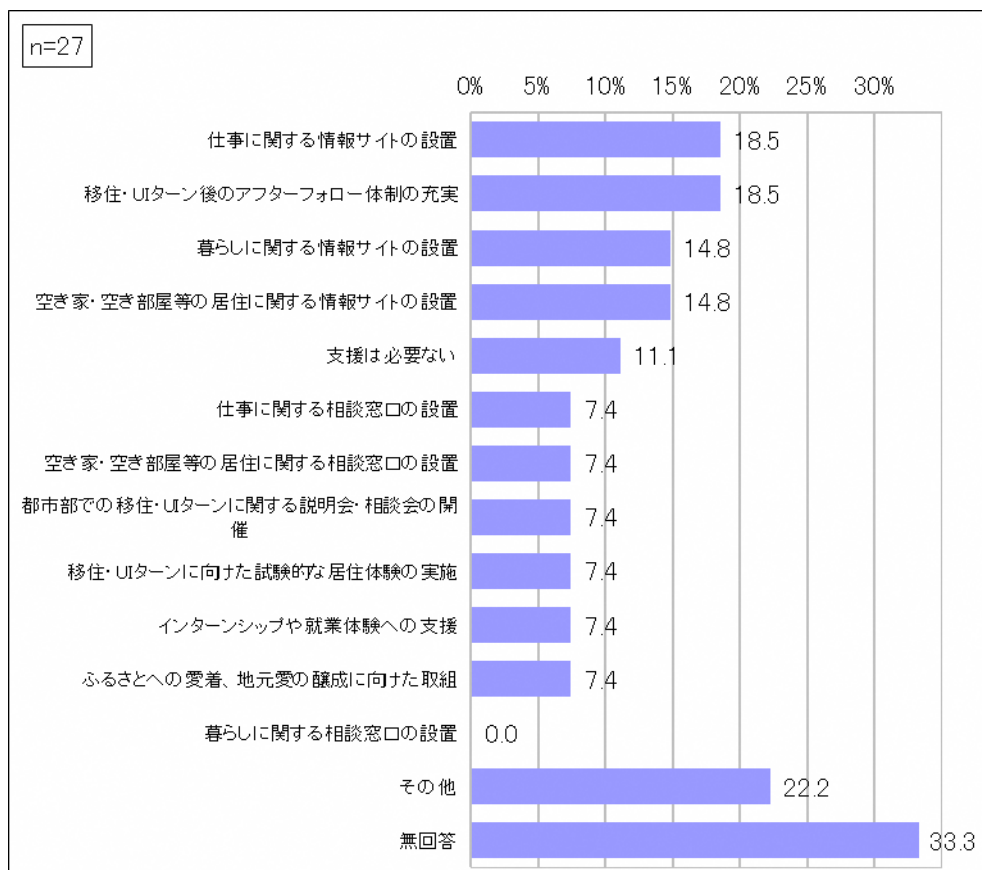
	回答数	家族・親戚が住んでいないから	友人・知人がいないから	通勤・通学に不便だから	買物など日常生活の利便性が悪いから	都会に遠いから	仕事ที่ได้にくいから	生活していく上で費用が高いから	災害等が多く、安全ではないから	土地柄・人柄が悪いから	まちが騒々しく落ち着かないから	自然が少なく、寒冷な気候だから	まちに愛着がないから	子育てしにくいから	行政サービスが不足しているから	その他	無回答
全体	27	18.5	18.5	55.6	55.6	55.6	37.0	11.1	0.0	14.8	0.0	3.7	18.5	14.8	18.5	25.9	3.7
10歳代	1	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳代	9	11.1	22.2	88.9	55.6	77.8	55.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	11.1	11.1	0.0
30歳代	5	0.0	20.0	40.0	60.0	60.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
40歳代	6	16.7	33.3	66.7	83.3	66.7	33.3	33.3	0.0	50.0	0.0	16.7	50.0	33.3	50.0	33.3	0.0
50歳代	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
60歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
70歳代以上	4	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0

Ⅱ 調査結果

転出前後の状況 について

- 神河町へUターンする際に重要な行政支援としては、無回答とその他を除き、「仕事に関する情報サイトの設置」が最も多く挙げられ、次いで、「暮らし」や「空き家・空き部屋等の居住」に関する情報サイトの設置、「アフターフォロー体制の充実」の順となっています。

問2-7：【問2-4で「3.ない」と回答の方】あなたが将来、神河町へUターンする際に重要な行政支援は何だと考えますか。
（優先度の高いもの3つ） （MA）

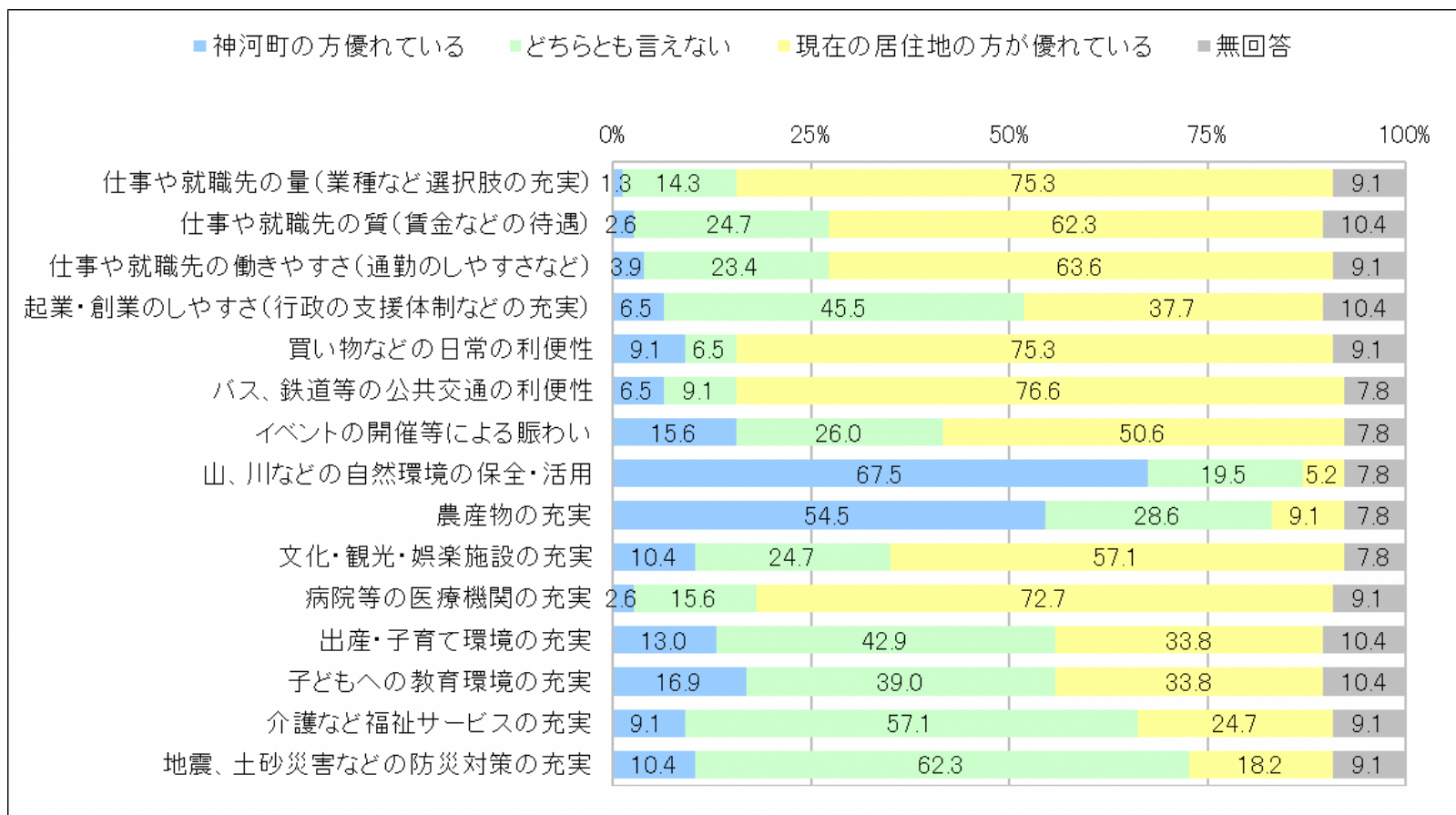


Ⅱ 調査結果

転出前後の状況 について

- 転出者から見て、現在の居住地と比較して神河町の方が優れている項目、すなわち神河町の強みとしては、「山、川などの自然環境の保全・活用」と「農産物の充実」が特に多く挙げられています。

問2-8：神河町と現在の居住地について、以下の評価項目で比較した際の感想について、お答えください。
(SA)



Ⅱ 調査結果

転出前後の状況 について

- 30歳代までの層において、「起業・創業のしやすさ」は転出後の居住地と大きな差がないと回答していますので、この点において差別化が可能であると言えます。

問2-8.4：神河町と現在の居住地について、以下の評価項目で比較した際の感想について、お答えください。／起業・創業のしやすさ（行政の支援体制などの充実）（SA）

年齢別集計結果（％）

	回答数	神河町の方優れている	どちらとも言えない	現在の居住地の方が優れている	無回答
全体	77	6.5	45.5	37.7	10.4
10歳代	1	0.0	0.0	100.0	0.0
20歳代	30	6.7	46.7	43.3	3.3
30歳代	18	0.0	61.1	33.3	5.6
40歳代	10	10.0	20.0	70.0	0.0
50歳代	3	33.3	33.3	0.0	33.3
60歳代	3	0.0	33.3	33.3	33.3
70歳代以上	11	9.1	54.5	9.1	27.3

Ⅱ 調査結果

転出前後の状況 について

- 40歳代以上の層において、転出先の居住地において子供への教育環境がより充実していると回答しています。

問2-8.13：神河町と現在の居住地について、以下の評価項目で比較した際の感想について、お答えください。／子どもへの教育環境の充実（SA）

年齢別集計結果（％）

	回答数	神河町の方優れている	どちらとも言えない	現在の居住地の方が優れている	無回答
全体	77	16.9	39.0	33.8	10.4
10歳代	1	0.0	0.0	100.0	0.0
20歳代	30	23.3	40.0	33.3	3.3
30歳代	18	27.8	55.6	11.1	5.6
40歳代	10	0.0	20.0	80.0	0.0
50歳代	3	0.0	33.3	66.7	0.0
60歳代	3	0.0	33.3	33.3	33.3
70歳代以上	11	9.1	36.4	18.2	36.4

Ⅲ 調査結果

持続ある発展に向けた神河町のまちづくりについて

- ・ 若者が働きやすい環境づくりや、企業の誘致をしてほしいという意見がありました。
- ・ 雇用促進のため、大型ショッピングモールの誘致を期待する声もありました。
- ・ 自然を生かした観光業を発達させ、それに関連する雇用に期待する意見がありました。
- ・ 交通機関の整備は不可欠であるとする意見が多くありました。

問3-1：神河町にしごとをつくり雇用を促進するには、どうすればよいと思われますか。

自由回答

（企業誘致関連抜粋）

企業誘致、子育て支援、勤労環境づくり。
大企業誘致でなく、中小企業の誘致を促進する。
土地を活用して企業を呼びこむ。
サテライトオフィスの誘致。（主にテレワーク導入企業に対して）

（大型ショッピングモール関連抜粋）

個人商店が多く、企業が少ない為、イオンを作ってほしい。
人口流出を抑止するために、大型ショッピングモールを誘致する。まず人口を増やす。

（観光振興関連抜粋）

観光を促進させる。
自然を活かした観光業を発達させるべき。（すすき、スキー場など昔にくらべると発達してきているがまだまだ。）そのためには、訪れやすい神河町を目指すべき。交通機関の発展は必須。観光業が発達すれば、カフェやグルメも発展する。あくまでも自然を活かすべき。
・観光資源を活用した仕事をつくる→理由として、他行政区に比べると観光資源が多く、恵まれているため。・カーミンを活用したイベント・素泊まり付きのバイト提供・積極的な観光資源アピール

（交通関連抜粋）

インフラの整備。
交通面の充実

Ⅲ 調査結果

持続ある発展に向けた神河町のまちづくりについて

- ・ 町内のバス、また都市部への交通の面で不満が非常に多く見られました。
- ・ 移住の受け入れに際して、住宅の補助や町の住民の意識改革が必要であるという意見が多くありました。
- ・ 買い物ができ、娯楽の集まる場所が必要であるという意見が見られました。
- ・ 自然環境の良さを生かし、より一層アピールすべきだという意見がありました。

問3-2：都市部から神河町へ移住してもらうには、どうすればよいと思われますか。

自由回答

（交通関連抜粋）

1時間にバスが数本、都市部から離れているにもかかわらず家賃が高い、なのに賃金が安い。これでは家族を養うには厳しいと思われる。

・明石市のような子育て支援。・JR寺前―姫路間で快速があればもっとはやく着くのかなあ…と神河町に住んでいた頃思っていました。

（商業施設関連抜粋）

買い物のできる場所をもっと増やす。娯楽施設を増やす。公共交通の利便性を上げる。

ショッピングモールなど、お店が増えたらもっと住みやすくなると思います。

（自然関連抜粋）

自然の良さを活かす。神河町民はみんな温かい人なので、住民の方とのふれあいを大切にしていく。

住民が誇りをもって川や自然を美しく保つこと。バイクモやホテルなど、自然をもっとアピールしたら良いと思います。

（受入環境関連抜粋）

住んでいる人の受け入れの気持ちや自給自足（特に野菜）の生活子供が大学卒業まで、家賃無料の住宅を提供（空き家も活用）。育友会以外の村の付き合い（草刈り、溝そうじ、区費、隣保費）などは免除。若い世代が生活しやすい環境を都市部の若者に宣言、アピールしてみても……

早期退職を対象とした空き家の誘致や農業の支援。

都会に住んで思ったのが、①スーパー ②病院 ③学校が最低限充実していないと住みたいと思えません。なので何かを増やすのではなく、この3つがすたれないようにしていけばいいのでは？

スーパーは配達がこれからのカギだと思う。私がもし田舎に帰るのに一番不安なのは、なんやかんやと会合や付き合いが多すぎる。人も少ないし仕方ないけどそこがネック。まして移住組にそれを求めると嫌がられると思う。

Ⅲ 調査結果

持続ある発展に向けた神河町のまちづくりについて

- 子育て環境の整備や、子育てに関わる費用の負担を求める声がありました。
- 出産が可能な病院の整備が重要であり、近隣では明石市の子育て環境が良いという意見が多かった。また、出産と子育てに際して、同世代の人が少なく不安であるという意見があった。

問3-3：神河町において、若い世代の結婚・出産・子育てを進めるには、どうすればよいと思われますか。

自由回答

（子育て環境関連抜粋）

若い世代が結婚して、出産・子育てしたいと思う環境をつくる。例えば、結婚……街コン、お見合い（カップルや結婚する方は行政が補助をだすとか）、子育て……住宅補助（今まで以上に）

1人産んだら100万円、2人産んだら300万円、3人産んだら500万円支給する。ただし、神河町に住んでおり、神河町で仕事をする家庭に限る。

若い世代が家を新築やリフォームした際の助成金をもっとアップする。子育てに必要なおむつなどはかなり費用がかかるため、今以上に補助金アップや子育て用品の支給をしてほしい。（消費税アップ等で厳しいので）

（医療関連抜粋）

まず、栗賀の病院で産めない…。私ももうすぐ出産で神河町に里帰り出産するのですが、姫路まで行かないといけない。これじゃあまりみなさんそちらで出産、子育てしようと思わないと思う。でも産婦人科医の大変さも分かるので、仕方ないとも思う。そのかわり子育てや出産の支援（おもに金銭面）をしてもらえるなら神河町で！とも思う。明石がそういう支援が厚く、人気というのもよく聞くので、神河町もそうなればと思います。

出産するとして、安心で有名な病院がでてこない。子育ては教育費を負担する等で人は入ってくるかもしれないが、同じ世代の人がいないイメージがあり、心細く感じる。

Ⅲ 調査結果

持続ある発展に向けた神河町のまちづくりについて

- ・ 保育環境の充実と、それに関わる保育士の待遇改善を望む声がありました。

問3-3：神河町において、若い世代の結婚・出産・子育てを進めるには、どうすればよいと思われますか。

自由回答

（保育関連抜粋）

核家族が増え、共働きをする夫婦が多い。昔と違って、祖父母に子どもを預ける事も難しくなっている。その為、0歳児、1歳児から保育園に預け、送迎も夫婦の仕事帰りの時間に合わせて行くので、子どもが保育園で過ごす時間が長くなっており、また保育士の労働時間も長く、保育士不足が互いに影響している。もっと町が率先して保育士の確保や0～3歳児までの子どもたちの保育について考えていって欲しい。→神戸市や姫路市は、他町からの保育士を歓迎し、住まいの助けや補助金があったりする。神河町もそういった保育士に対しての援助を考えていけばどうか。

保育士、介護士の給料アップ

Ⅲ 調査結果

持続ある発展に向けた神河町のまちづくりについて

- ・ 周囲の地域とを結ぶ交通機関の改善を要望する声が多くありました。
- ・ ネットを活用した広報により力を入れるべきだという意見がありました。
- ・ 子育て世帯や若い人間の意見を反映させてほしいとの声がありました。

問3-4：神河町のまちづくりに関して、ご意見やアイデアがございましたら、自由にご記入ください。

自由回答

（交通関連抜粋）

・車を手放しても生きていけるまちにしてほしい。・高齢ドライバーの事故をなくす為に、自動ブレーキ機能をつける補助金制度or手続きを代理してほしい。高齢の方は文字が書きづらかったり、手続きを苦手にする人が多い。・夜カフェできるところがほしい。夜ごはんを食べられるところがほしい。・砥峰高原で結婚式とかいいかも。前撮りもステキ。・後片づけまでしてくれるBBQ施設。

一宮町から神河町へのトンネルを作ることにより、波賀、一宮からの人々の交流ができることにより寺前地区が栄えることと思います。また、病院、商店も同時に栄えると思います。播但線も利用が増えると思われます。高校への通学にも山崎に出て姫路の学校に通学も便利です。

和田山から寺山までSLを走らせて、竹田城、神子畑鉱山（明延）、生野鈴山低峰、峰山の観光名所を作れたらいいと思います。（電車区間じゃないので）朝来市、神河町、JRとのコラボなどどうでしょうか？

（広報関連抜粋）

もうされているかもしれないが、ネットをもっと活用してほしい。広告のアドバイザーを雇って、アドバイスをもらって、うまく宣伝してほしい。こんなに私は神河町が大好きなので、いつまでもいい町でいてほしい。今はネットで情報を仕入れる時代なので、そして田舎に憧れる若者も多い（30代）ので、空き家、土地の安さを売りに、のびのびと子育てができることをアピールしてほしい。家や庭の広さはとても魅力的なので（古さはDIYでカバーできる）、そこは田舎の良さを最大にアピールしてほしい。どんどんHPやYouTubeで宣伝する。

（その他）

子育て世代の意見を反映させてほしい。
子供達の意見を聞く、子育て世代の希望、世代ごとの要望を聞く。